



未来をたくましく 生きる力を育むために

本市の子どもの学力・学習の状況

問合せ先／
本庁学校教育課指導G（内線 5332）

今、求められる学力

学習指導要領では、これからの時代を生き抜く子どもたちに求められる資質・能力として、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を挙げています。

本市では未来を担う子どもたちが、これら3つの資質・能力を身に付け、変化の激しいこれからの社会を、夢と希望を抱き、自信を持ってたくましく生きることができるよう、確実な学力の定着を目指した取り組みを推進しています。

今回は、全国学力・学習状況調査の結果と、本市の学力向上に向けた取り組みの一部を紹介いたします。

全国学力・学習状況調査

【概要】

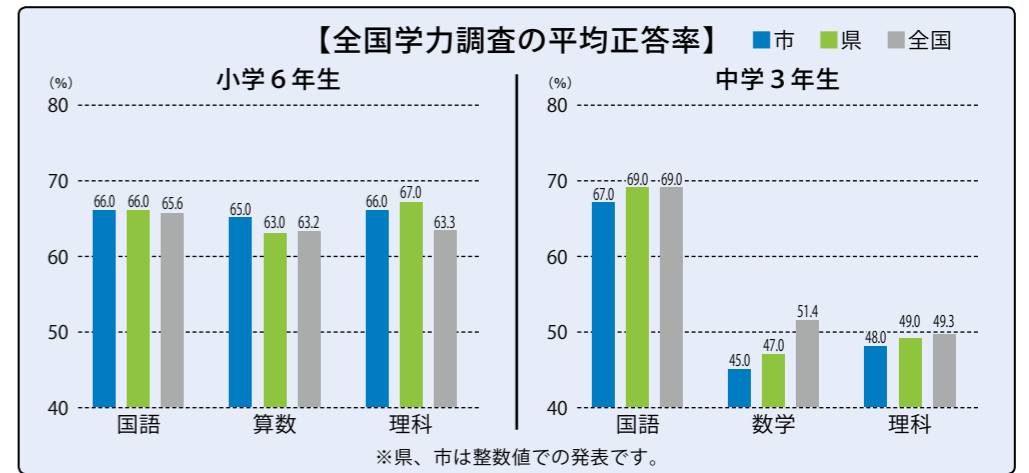
- ・調査時期 令和4年4月
- ・対象学年 小学6年生、中学3年生
- ・調査内容 学力(国語、算数・数学、理科)

【全国学力調査結果および課題】

小学6年生は、全ての教科で、全国平均を上回りました。

中学3年生では、国語、理科は県、全国平均をやや下回りましたが、全国平均との差は縮まっています。数学は県、全国平均を下回りました。

小・中学校ともに、自分と友達との考えを比べて関連付けたり、根拠や理由を基に、自分の考えを説明したりするような問題に課題が見られます。



【質問紙調査結果および課題】

小学6年生・中学3年生ともに、「学校に行くのは楽しい」と答えた子どもの割合が、全国平均を大きく上回りました。

一方、「自分にはよいところがある」と答えた子どもの割合が全国平均より低く、自己肯定感(ありのままの自分を肯定できる感情)を高めるための取り組みが必要なる事が分かりました。

学校では、子どもが「授業がよく分かる」と実感できる授業づくりに取り組んでいます。具体的には、子ども同士で対話し、考えを深め合う時間や場を確保することで、友達と自分の考えを比較・関連付け、根拠や理由を付けて説明する活動などを積極的にを行い、子どもが「授業に主体的に取り組んでいる」姿を大切にしています。

また、タブレットなどを活用し、子どもが自分に合った学び方を選択したり、友達と協力して問題を解決したりするなどの学習活動を通して、「できた」「分かった」と学びを実感し、自己肯定感を高めることができるような授業づくりを進めています。

これらは、今年度、市内全ての公立小・中・義務教育学校で展開している「魅力ある学校づくりプロジェクト」の取り組みでもあります。子どもにとって学校が安心できる場所となるような「居場所づくり」や、子ども同士の「絆づくり」の取り組みを推進し、学校が主体となつて、家庭や地域と共に「魅力ある学校」の実現を目指してまいります。

課題の解決に向けて

質問紙の回答から

学校に行くのは楽しい

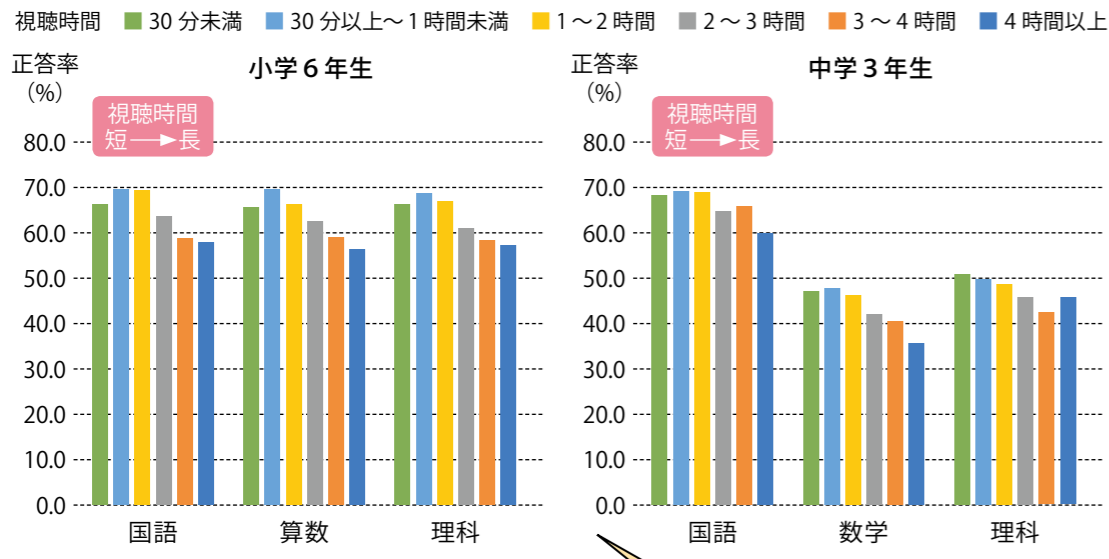
小学6年生 全国比 +9.5%
中学3年生 全国比 +12.5%

自分にはよいところがある

小学6年生 全国比 -8.5%
中学3年生 全国比 -8.0%

※当てはまると回答した割合の差

児童生徒質問紙から分かる本市の児童生徒の学習・生活習慣と平均正答率との関係



質問紙調査は、平日(月曜日～金曜日)、1日当たり1～2時間の時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをこまめに利用する時間やゲームをする時間は除く。

※SNSとは、TwitterやInstagramなどWeb上で利用者が同士が交流できるサービスのこと。

小学6年生も中学3年生も、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどでSNSや動画の視聴時間が長いほど、平均正答率が低い傾向が見られます。学校では、情報機器の適切な使用や情報モラルについて指導を行っています。家庭でも情報機器の使用ルールについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

また、次のような児童生徒には、教科の平均正答率が高い傾向があります。

- 朝食を毎日食べる。
- 毎日、同じぐらいの時刻に寝る。
- 読書が好きである。
- 自分で計画を立てて勉強をする。
- 自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている。
- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。

授業がよく分かる

授業に主体的に取り組んでいる

**魅力ある
学校づくり
プロジェクト**

子どもの「声」を基に改善し、確実な学力の定着につなげていきます。

「魅力ある地域」
コミュニティ・スクール制度を生かし、子どもの学力向上のために、学校・家庭・地域ができることを学校運営協議会などで一緒に考えていきます。

「魅力ある人(教師)」
教師が子どもたちに寄り添い、共感を持って関わりながら、「できた」「分かった」という声を引き出すことで、自己肯定感を高めています。

「魅力ある授業」
子どもたちが、対話を通して自らの思考を深める学習や、タブレットなどのICT(情報通信技術)を活用する学習を積極的に取り入れ、学びの実感を味わえる授業を展開しています。

「魅力ある学級」
教職員がつくりだす「居場所づくり」、子ども同士が「絆づくり」に取り組むことで、互いの意見を認め合える雰囲気をつくり、対話的な学習を心掛けていきます。